



2026年 8 月12日

各 位

会 社 名 日本エアーテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 平沢 真也
(コード：6291 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 管理本部長 二渡 輝
(TEL:03-3872-9192)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取組み（アップデート）

当社は、本日開催の取締役会において、2025年 8 月14日に公表しました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取組み」について、当社の現状を分析し、今後の取組み方針について決議しましたので、お知らせいたします。

内容につきましては、添付資料をご参照ください。

以上



AIRTECH

資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた取組み

2026年 8月12日 アップデート (Vol.3)
2024年11月13日 初版

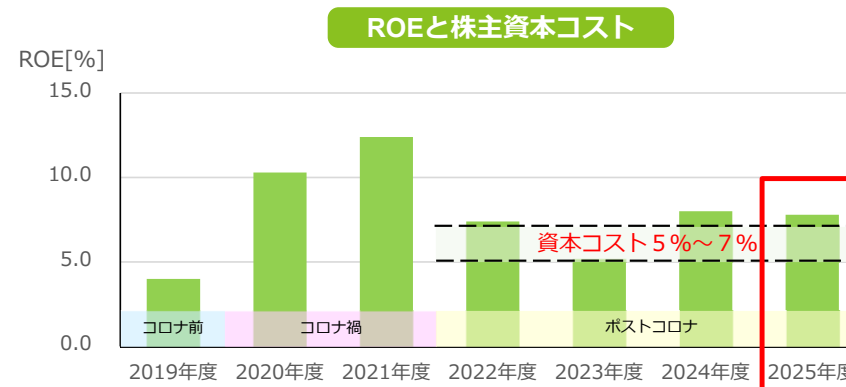
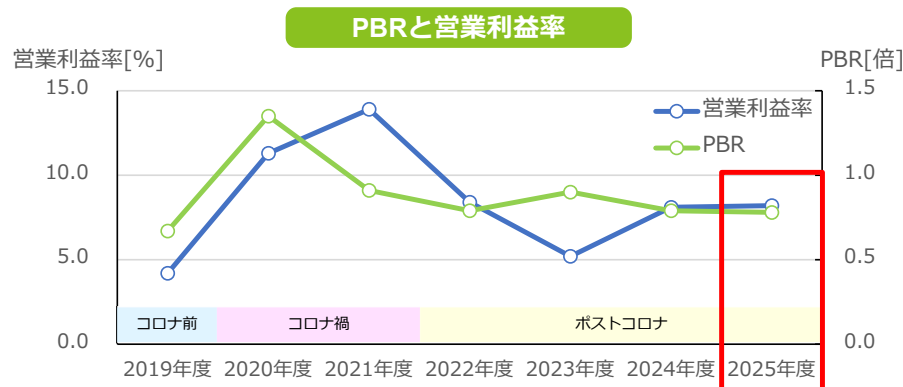
日本エアーテック株式会社

東証スタンダード 証券コード6291

1. 現状分析

AIRTECH

- 直近におけるPBRは0.78倍と、1.0倍を下回る水準となっております。
- 当社では株主資本コストの水準をCAPM及びPERより算出しており、近年では約5～7%台と認識しております。
- 近年におけるPERは、10～17倍程度であり、株主還元及びIR活動を強化する等の取組みが必要と認識しております。
- 当社のROEは、株主資本コスト（約5～7%台）とほぼ同程度となっており、直近では7.8%となっております。



決算年度 (12月期)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
売上高 [百万円]	10,442	12,487	14,289	13,172	13,646	13,517	14,151
営業利益 [百万円] / 営業利益率 [%]	435 / 4.2	1,414 / 11.3	1,991 / 13.9	1,105 / 8.4	707 / 5.2	1,098 / 8.1	1,163 / 8.2
純利益 [百万円] / 純利益率 [%]	405 / 3.9	1,136 / 9.1	1,584 / 11.1	1,017 / 7.7	731 / 5.4	1,137 / 8.4	1,131 / 8.0
PBR [倍]	0.67	1.35	0.91	0.79	0.90	0.79	0.78
PER [倍]	16.48	13.87	7.70	10.75	17.28	10.19	10.35
ROE [%]	4.0	10.3	12.4	7.4	5.2	8.0	7.8

2. 5つのマテリアリティ（重要課題）

AIRTECH

01

最先端の技術を追求し続ける

最先端のクリーンエアー技術で多様な産業の高度な要求に応え続ける。

02

全ての社員が自己実現できる環境を追求する

社員一人ひとりが誇りを持ち能力を最大限発揮できる環境を整える。

03

ステークホルダーと価値協創する

多様なパートナーと協働し社会と顧客へ新たな価値を創出する。

04

脱炭素社会実現に積極的に貢献する

省エネ技術で温室効果ガス削減に貢献し脱炭素社会を支える。

05

ガバナンスで信頼を築く

法令遵守とリスク管理を徹底し持続的成長と社会の信頼を築く。

3. 中期経営計画(2027-2031)全体像

AIRTECH

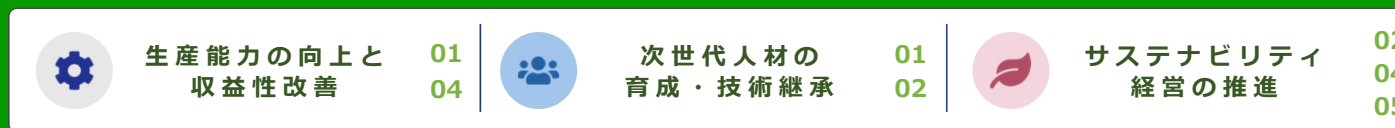
(2027-2031)
持続的成長を目指す中期経営計画



成長戦略



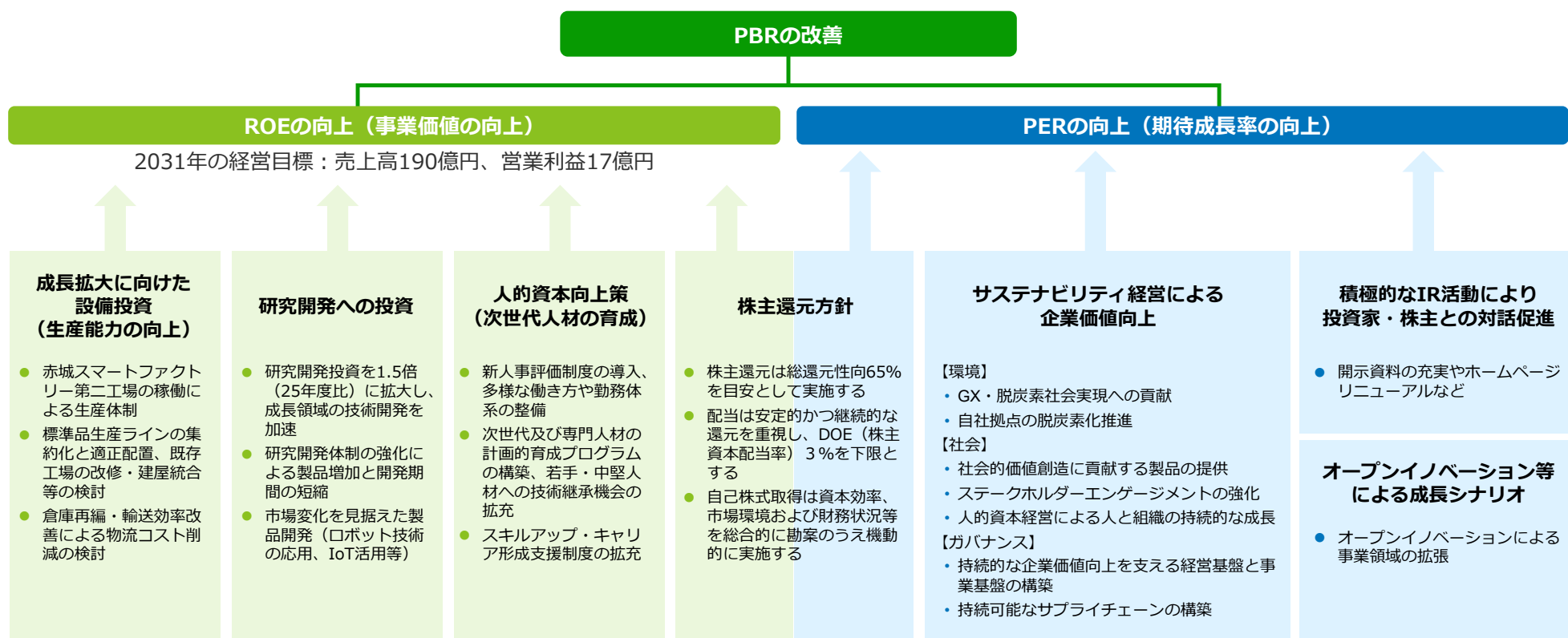
基盤戦略



01 最先端の技術を追求し続ける 02 全ての社員が自己実現できる環境を追求する 03 ステークホルダーと価値協創する 04 脱炭素社会実現に積極的に貢献する 05 ガバナンスで信頼を築く

4. PBR改善に向けた方針・目標

1. 事業成長と収益性の向上を図る各種方策に取組み、ROE、PER双方を改善しPBR向上を目指します。
2. 中期経営計画(最終年度 2031年12月期)を推進し、ROE 8 %以上を目標とします。



4-1. 具体的な取組み：ROE向上

AIRTECH

ROEの構成 要因別対策

ROE

当期純利益
自己資本

=

売上高純利益率

当期純利益
売上高

×

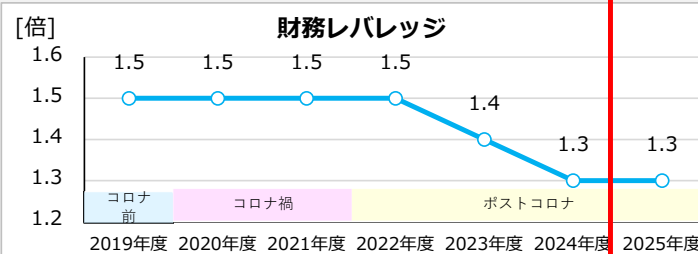
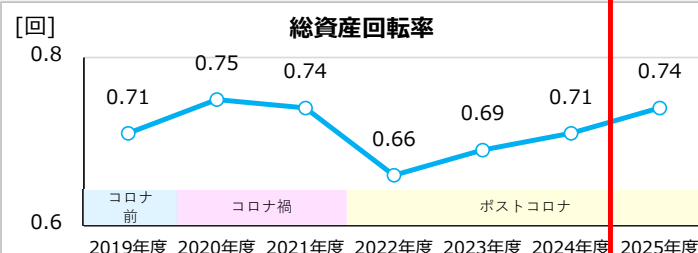
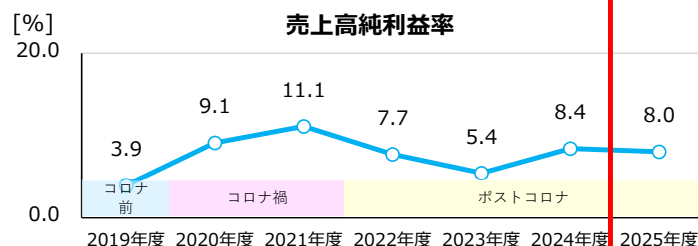
総資産回転率

売上高
総資産

×

財務レバレッジ

総資産
自己資本



ROEの向上策

- ・ 差別化による既存事業の収益力強化
- ・ 製品開発・研究開発の強化
- ・ 次世代人材の育成・技術継承
- ・ 生産能力の向上と収益性改善

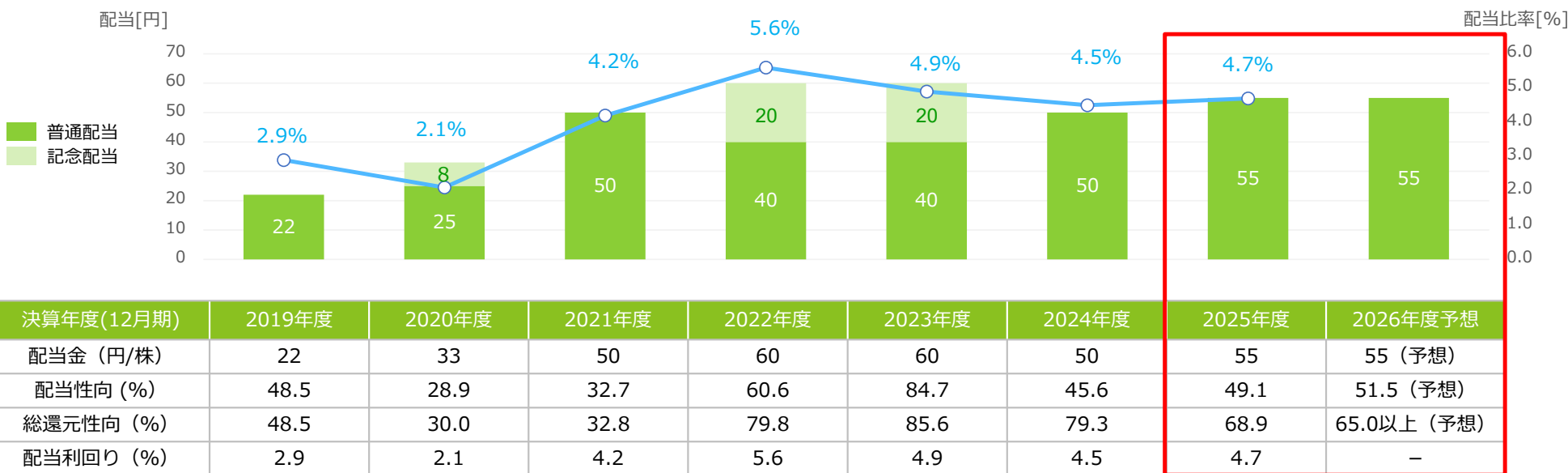
- ・ 成長領域への事業展開加速
- ・ 海外市場開拓に向けたグローバル連携強化
- ・ 物流体制の最適化

- ・ 生産能力の向上と収益性改善に向けた設備投資
- ・ 株主還元方針

4-2. 具体的な取組み：株主還元方針

- 利益配分につきましては、将来の事業展開に必要な成長投資および財務基盤の維持・強化とのバランスを図りながら、安定的な配当の継続と機動的な自己株式取得を通じて株主還元の充実に努めることを基本方針としております。

- 1) 株主還元は総還元性向65%を目安として実施します。
- 2) 配当は安定的かつ継続的な還元を重視し、DOE（株主資本配当率）3%を下限とします。
- 3) 自己株式取得は資本効率、市場環境および財務状況等を総合的に勘案のうえ機動的に実施します。

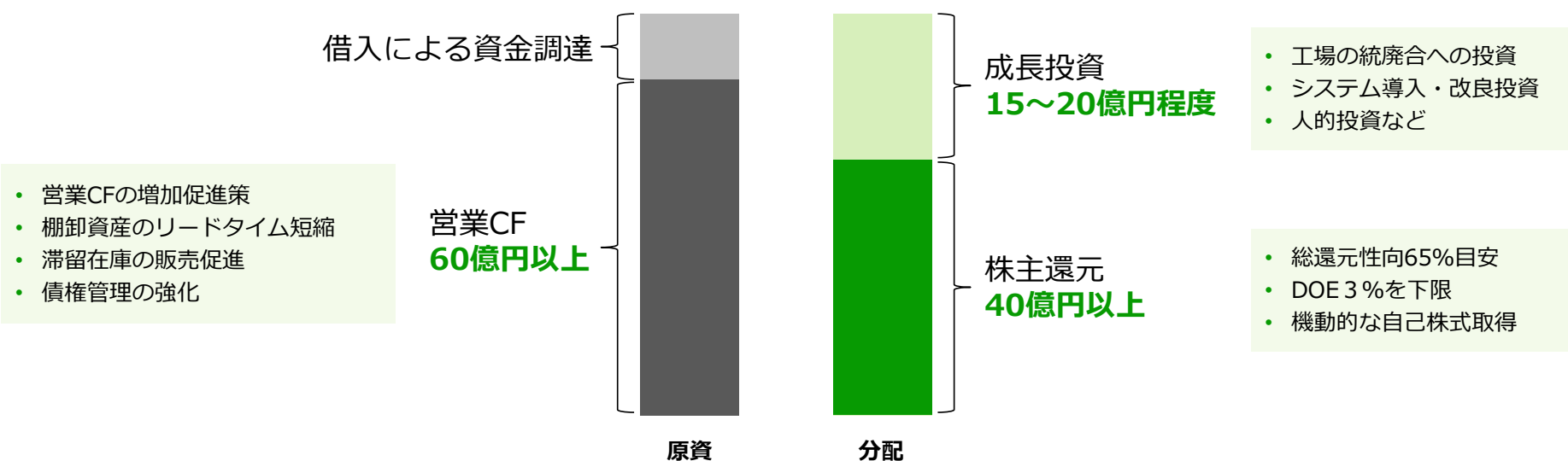


【注記】配当利回りは決算年度末の株価にて算出しております

5. キャピタル・アロケーション

営業CFを基盤とし、安定的な事業運営に必要な運転資金として30～40億円を目安に手元流動性を維持しつつ、機動的な資金調達を活用しながら、財務レバレッジの活用による資本効率の向上を図るとともに、成長投資および株主還元を両立するキャピタル・アロケーションを推進します。

キャピタル・アロケーション方針 (2027年度～2031年度方針)



AIRTECH

電子工業から再生医療まであらゆるシーンで
求められるクリーンな空気環境にお応えします。



本資料に関するお問合せ
日本エアーテック株式会社
管理本部 Email: lrinfo@airtech.co.jp

本資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社独自の判断に基づくものであり、経済状況や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。従いまして、記載された将来の予想数値・試作の実現を確約したり、保証するものではありません。